

第四次 志木市子ども読書活動推進計画（素案）の概要

基本理念 すべての志木っ子に読書の喜びを

計画策定の目的：子どもの読書に取り組む環境を引き続き整備し、自ら読書に親しみ、読む楽しさ、調べる楽しさ、知る楽しさを味わうことで、読解力、思考力、表現力を磨き、次代を担う子どもたちの「生きる力」を育むことを目的とする

計画の期間：令和8年度～令和12年度（5年間）

計画の対象：概ね18歳以下の人及び子どもの読書活動推進に関わる大人

取組の主体：「図書館」「学校」「地域」「家庭」

計画策定の位置付け：

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、国及び県の計画を基本にするとともに、本市の実情を踏まえ、同計画を策定

■計画の達成度を計るための指標 ～令和12年度末の目標指標～

全体目標 不読率の改善

小学生 1.90%以下（1.90%） 中学生 5.00%以下（7.42%）

1) 重点目標Ⅰ 子どもの発達段階に応じた読書習慣の形成【図書館】

児童書の貸出冊数（一般・年間） 185,000冊（168,125冊）

児童書の貸出冊数（団体・年間） 15,000冊（13,785冊）

団体貸出用蔵書数（年間） 12,500冊（11,325冊）

2) 重点目標Ⅱ 学校図書館の支援と充実【学校図書館】

学校図書館1人当たりの貸出冊数（年間）

小学生 42冊（39.1冊） 中学生 8冊（6.6冊）

3) 重点目標Ⅲ 多様な子どもたちへの読書機会の提供【図書館】

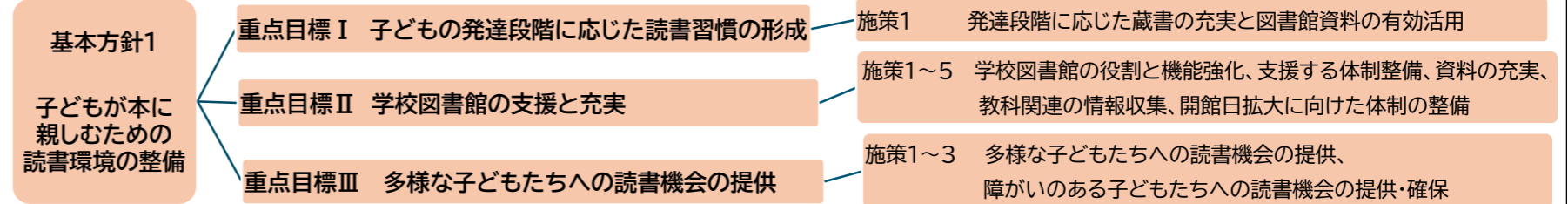
りんごの棚※ 貸出冊数（年間） 200冊（111冊）

多様な子ども関連事業の参加人数（年間） 150人（0人）

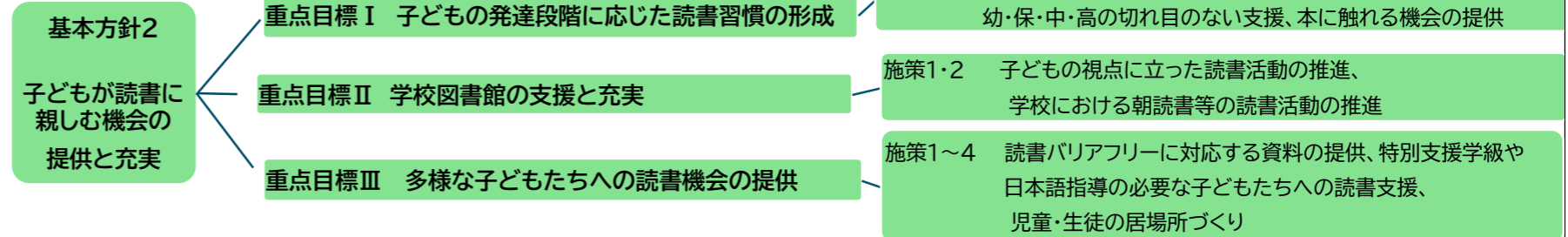
※（ ）内の数値は、令和6年度末現在の実績数

※りんごの棚・・・大きな活字・点字・触って楽しめるものなど読みやすさやバリアフリーに配慮した誰もが楽しめる図書を集めた本棚

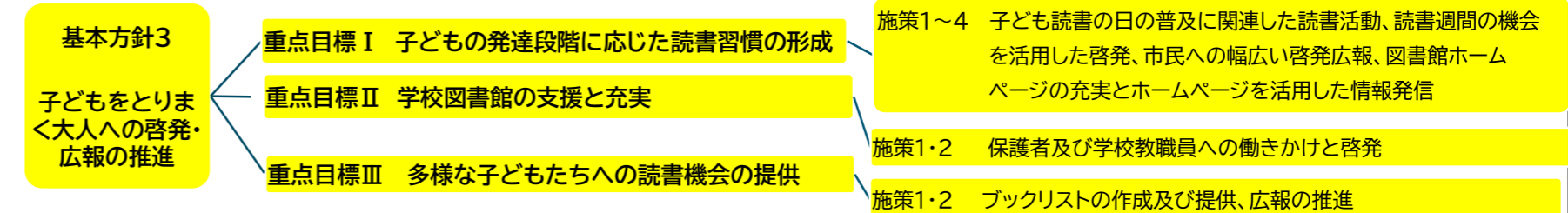
■計画の体系：5つの基本方針と3つの重点目標で読書活動の推進を図る



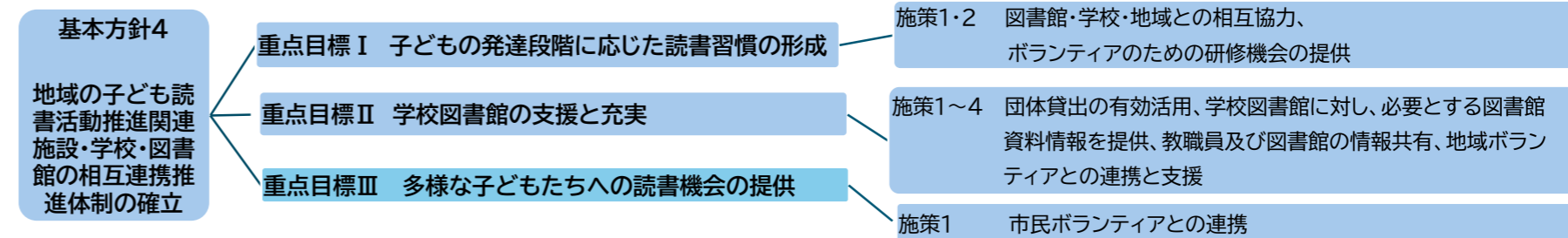
具体的な取組：家読（いえどく）推進図書選定及び展示、学校図書館を支援する体制の整備、りんごの棚の設置など



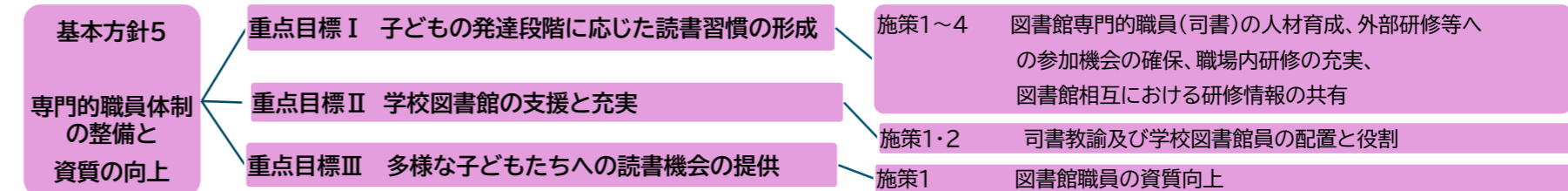
具体的な取組：小中学生読書ポイント、子ども向け福Book袋（仮称）、読書の木の設置、子ども図書館プランナー、多言語によるおはなし会など



具体的な取組：育児パパの読み聞かせ講座、志木っ子読書週間、志木っ子家読（うちどく）デー、多言語対応絵本シートなど



具体的な取組：親子の読み聞かせ講座、商店街と連携した図書館イベント、子ども食堂等での児童書の配架など



具体的な取組：市内保育園、幼稚園などの職員を対象とした実践研修会、学校図書員及び図書館職員対象の先進地視察・研修会など